



低揮発分炭においては、揮発分が少なく、かつ、その放出温度が高いため、着火しにくく、安定燃焼が困難である。このような燃料に対し、燃焼空気を従来以上に高温化することで、低揮発分炭を含む幅広い石炭に対して優れた燃焼特性が得られることが明らかになっている<sup>(1)</sup>。



第 4 図 従来型 ( IHI-DF バーナ ) 火炎の様子  
Fig



